

# ☆えほん☆

## 「きつねとかわうそ」

梶山俊夫／再話・画 福音館書店 E1キツ

たべものをごちそうしあうことにしたかわうそときつね。かわうそはきつねにさかなをいっぱいごちそうしたのに、かわうそがきつねのいえにいてみると、きつねはしらんかお。おこったかわうそは、きつねをこらしめることにした。



# あたらしい本のコーナー

## 「すっきゃわん！」

エド・ボクソール／作・絵  
長谷川義史／訳 世界文化社 E4ホク

ぼくは犬のスクート。いつもにわで、サリーといっしょにおさんぽしたりボールであそんだり。ある日、ひと休みしていたら、空に赤いききゅうが見えた。「あっ、あれはぼくの赤いボールやん」ぼくははじめてへの外へ出た。

## 「チロリ」

大木トオル・大木チロリ／文  
鴨下潤／絵  
トゥーヴァージンズ E3カモ

セラピードッグは、ろうじんホームやびょういんなどで、人をえがおにしたり、心が弱った人や、びょうきの人を元気にする犬だ。チロリは、にほんではじめてセラピードッグになった。



## 「いちばんしあわせなおくりもの」

宮野聡子／作・絵 教育画劇 E3ミヤ

もり森のはずれにすんでいるこりすとくまくんは、おとなりどうし。

ある日、こりすはなかよしのくまくんにおくりものをしたいと思いついた。でも、くまくんは自転車もセーターもほしくないみたい。くまくんがよろこんでくれるおくりものってなんだろう？

# ☆よみもの☆

## 「オバケ屋敷にお引越し」

### ・スギナ屋敷のオバケさん・

富安陽子／作 たしろちさと／絵  
ひさかたチャイルド 931トミ  
料理研究家の尾羽健一郎さん、通称

オバケさんは広いキッチンのある家をさがしていた。ちょうどそこに売出し中の物件が！緑豊かなテンテル山に建つ、すてきな洋館だ。しかし、そこには本物のオバケがいて・・・？！



## 「賢女ひきいる魔法の旅は」

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ／作  
アーシュラ・ジョーンズ／作  
田中薫子／訳 佐竹美保／絵  
徳間書店 932シヨ

ログラ国によってかけられた呪文のため閉じ込められた島になってしまったスカア国。大王の命により、賢女ベックは、呪文を打ち破るために姪のエイリーンを供として旅立った。だが、思いもかけぬ困難が待ち受けていた。

## 「弓を引く少年」

大塚菜生／作 山本祥子／画  
国土社 931オオ

事故で母親を亡くしてから、乗馬をやめてしまった弦。ある日、弦に乗馬を教えてくれたおじの「ハルオジ」が真っ黒な馬を連れてきた。弦に「乗ってほしい」というのだが、その馬はなかなかのクセモノだった。ハルオジはいったい何をたくらんでいるんだろう。



## 「こぶたものがたり」

### ・チェルノブイリから福島へ・

中澤晶子／作 ささめやゆき／絵  
岩崎書店 931ナカ

旧ソ連のチェルノブイリ原発事故から30年、福島で起こった原発事故から5年。こぶたの「まるまる」と「もも」がぶひぶひ鳴きながら教えてくれたこととは？



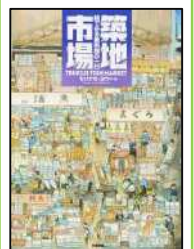
## 「10秒00の壁を破れ！」

### ・陸上男子100m

### ・若きアスリートたちの挑戦・

高野祐太／文 講談社 78

陸上男子100メートル。黒人選手が強いこの種目で、日本人で10秒をきった人はいない。しかし、この「かべ」を今やぶろうとする若者がたくさんいる。体の能力だけでは達成できないかべに技術・心・科学の力を使って立ち向かう人たちの話。



# ☆しらべもののほん☆

## 「築地市場」

### ・絵でみる魚市場の一日・

モリナカ・ヨウ／作・絵  
小峰書店 67

東京築地市場は日本一たくさんの水産物を取り扱う。深夜、市場へ届けられた魚は、どのように買い付けられ、それぞれの店や配送先へ出発するのだろうか？マグロの解体や、兵庫のイカ、指のサインで値段をしめすせり、市場ではたらくさまざまな車まで、イラストをじっくり見てみよう。

## 「わたしは樹木のお医者さん」

### ・木々の声を聞きとります・

石井誠治／文 くもん出版 65

樹木は、具合が悪くてもそれを言葉で伝えることはできない。その聞こえない声を聞き、葉や花、枝や根の状態を見て、木の健康をチェックし、治療するのが『樹木医』の仕事だ。身近な樹木に触れ、「木の気持ち」を感じてみよう。



## 「あの日、僕らは戦場で」

### ・少年兵の告白・

NHKスペシャル制作班／作  
新日本出版社 39

70年前、戦場となった沖縄には「護郷隊」という少年兵の部隊があった。生き残った元少年兵たちが、決して繰り返してはならないとの思いで語る「友の死も自分が死ぬのもどうでもよくなっていった」戦場で起こったこととは。

